

4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5



勸善懲惡 讀切講釋

悔みみよりの月の柳... 石井常左門と聞へん生得... 斬音心を幾し辛気真紅の... 器量望せて世に用ひれ... 堅気の石井... 奴僕より主人常左門へ内通せしより... 直小曲輪へ奔走して名あり高尾... 初會の約束合ひ口もよ... 逢夜のありしと持帰り... 無程出會の席上して石井が... 高尾を名させしを目引き... 鼻毛を讀るや全盛... 高尾何ゆへに爰来る... 是事いふとあざむり... 笑ふ仇忠が真まきありし石井が望... エみ事も横道の先をうけて待伏し常左門が帰る... さを切てくるを曲者とういひて刀の錯とあざむりて愚あ

花陣入述

石井常左門

よふ是或は汚名... 後の倍臣の美我心の... 表あを浅間...

徳壽夜

身傷重

ホウ丸一

